



平成21年 5月22日（金曜日）

国道13号「大橋交差点」改良後の状況について意見交換を実施しました

国道13号大橋交差点（横手市平鹿町醍醐地内）事業完了後、約1年が経過したことから、5月19（火）に改良前の問題の改善状況や更なる追加対策の必要性等について意見交換を行いました。

始めに、事務局から事業経緯、昨年実施したアンケート結果の説明を行った後に、それぞれの立場から渋滞状況の変化、工事期間中の問題、安全性の向上、前後の歩道が狭い区間の冬期除雪状況、児童の通学状況等について意見をいただきました。

当該交差点は、朝・夕のラッシュ時間帯に交通渋滞が発生しており、問題となっておりますが、平成14年に関係者による「大橋交差点渋滞を考える懇談会」により対策内容について意見交換を行い、国・県・市が合同で交差点改良を実施し、平成20年3月に完成したものです。

今後は、いただいた意見を参考に現在事業中の箇所や歩道除雪対策に活かしてまいります。



大橋交差点渋滞を考える懇談会 名簿

横手市平鹿区長
横手市平鹿町在住者 2名
横手警察署 交通課交通規制係長
醍醐小学校 校長
醍醐小学校 PTA会長
秋田県トラック協会 雄平支部長
羽後交通(株)横手自動車営業所長
秋田県平鹿地域振興局 企画道路課長
湯沢河川国道事務所 副所長
湯沢国道維持出張所長

事務局 湯沢河川国道事務所 道路管理課
横手市役所平鹿地域局 地域維持課

【主な意見】

- ①：渋滞は大変緩和したと感じている。ただ、工事期間中何度も同じ所を掘り返している。工事手順を考えて、まとめて少ない回数で作業できなかったのかと感じた。特に埋設物関係の掘り返しが多く感じた。
- ②：工事前はバスが遅れがちであったが、工後はバス時刻の遅れがなくなった。バス停車帯も整備され乗客の安全な乗降ができています。
- ③：湯沢～横手間の通勤時に大橋交差点を通過しているが、特に冬期間は到着時間が読めなかった。交差点改良後は到着時間が読めるようになった。
- ④：小学校児童の約7割（H20現在全校児童182名）が大橋交差点、醍醐横断歩道橋を利用している。子供達は安心して通学しています。
- ⑤：湯沢方面の歩道は狭いまま残っている。冬期の下校時間帯には（日中降り積もった雪で）狭くなって歩きづらくなってしまう。
- ⑥：歩道は朝1回しか除雪しないで、お年寄りや除雪されている車道を歩く方もいて大変危険。日中の降雪で歩道が凸凹になったままで歩きにくい状態となっている。
- ⑦：交差点前後が広がったことで車のスピードが上がって、交差点前後の公共施設（小学校、公民館）入り口で右折待ち車両がゼブラ帯に並んでいて危険なことがある。
- ⑧：車道が広がったことにより、乱横断する人が減っている。
- ⑨：信号時間のバランスに疑問を感じる。（国道側と交差道路側の信号時間）



☆意見懇談会の様子☆